

ビル管理技術科

就職率

令和6年度

73.5%

令和5年度

90.9%

\\ こんな方におすすめ! //

主な就職先・職種（実績）

- 電気工事会社（電気工事士）
- 給排水衛生設備工事会社（配管工）
- ビル管理会社（設備点検、保守）
- 制御盤製造会社（制御盤配線）
- 防災設備会社（消防設備点検）

求人票等記載例

施設管理、配管工、施工監理、電気工事業、電気・電気通信工事施工

訓練受講中に取得できる資格

- ・ガス溶接技能講習
- ・小型車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）の運転の業務に係る特別教育

任意で取得可能な資格

- ・第二種電気工事士
- ・危険物取扱者乙種4類
- ・ワープロ検定試験
- ・2級ボイラー技士
- ・消防設備士乙種4類
- ・表計算検定試験

- ✓ ビルの設備管理や保全の仕事を考えている方
- ✓ 建物などの各種設備の点検の仕事を考えている方
- ✓ 配管工事の仕事を考えている方
- ✓ 電気工事やエアコン設置などの仕事を考えている方
- ✓ 関連職種の事務職や営業職をめざす方で、現場の知識をつけたい方

仕事の詳細は

こちらからチェック!

ビル施設管理

配管工



出典: job tag 厚生労働省職業情報提供サイト（日本版 O-NET）

※1 7か月コース ▶ 5月・11月開講 / 6か月コース ▶ 6月・9月・12月・3月開講

定員

12名

費用等

テキスト代 ※3 ▶ 約 12,000 円

各自で用意するもの ※4 ▶ 作業帽子、作業服（上下）、安全靴、作業手袋

※1 1か月目はビジネススキル講習、2か月目から本訓練を実施します。

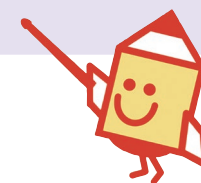
※2 定員数は、7か月コースの応募状況により、翌月の6か月コースの募集人数が変更される場合があります。

※3 既にお持ちのテキストがある場合でも、購入していただきます。テキスト代は変動する場合があります。

※4 作業服等の詳細については、合格通知時に送付する書面でご確認ください。

訓練概要

オフィスビル、ホテル、病院、学校等で快適に過ごすには、そのインフラの管理が不可欠です。この科ではビル管理に必要な技能及びその関連知識の習得をめざします。また、必要な資格試験に対応できるよう基礎的な内容から合格レベルまで徹底指導します。



訓練内容

1 給排水衛生設備



水道の給水・排水、冷暖房や給湯などビルの生活環境を実現するインフラ管理の技能・知識を習得します。

2 空調設備



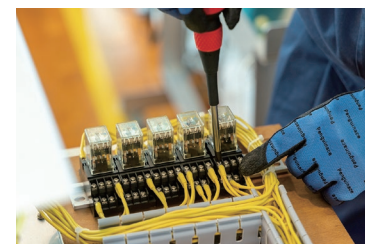
3 ボイラー取扱設備CAD



4 電気工事の基礎



5 ビル設備の電気制御



6 消防設備・情報活用



ビルの電力やエレベータの自動制御等生活の基盤を支えたり、消防設備として人命を守るために必要な技能、知識を習得します。

受講生の声

40代 男性



受講した感想

施設見学会・訓練体験会の説明のと通りの訓練が受けられたので、就活時の選択が増えました。

これから受講しようとしている人へのメッセージ

社会人になってから勉強する時間を作って来なかったが、転職する間に資格取得をめざして久々に勉強することができ、有意義な期間を過ごせました。

➡ 修了生の活躍事例は p16 へ!

指導員からのメッセージ

建物の設備について幅広く訓練していきます。各種設備についての知識や実習を通して、施工方法を基本から徹底的に指導します。幅広い内容を訓練しますので、自分が何に興味があるか、どんな仕事に向いているか迷っている方も、新たな自分を発見できるチャンスです。知識・技能の習得と国家資格取得にチャレンジしましょう。全力でサポートします!

まずは施設見学会へ!

訓練を受講して、就活時の選択肢が増えました（40代男性）